

平成 21 年 8 月 24 日

各位

会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
代表者氏名 代表取締役社長 小澤 洋介  
(コード番号：7774 NEO)  
本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1  
問合せ先 取締役経営管理部長 大林 正人  
電話番号 0533-66-2020 (代表)

## 自家培養軟骨：製造販売承認申請のお知らせ

8月24日、株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（本社：愛知県蒲郡市、代表取締役社長：小澤洋介）は、障害を受けた膝関節軟骨の補綴・修復及び関節機能の改善を目的として、再生医療製品である自家培養軟骨の製造販売承認申請を厚生労働省に行いましたのでお知らせいたします。

### 【背景】

軟骨組織は、血管がないため、事故やケガなどで一度損傷を受けると自然には治りにくく、これまで薬や手術による対症療法が行われてきました。一方、スポーツによるケガ、加齢に伴って生じるものなど、種々の関節異常が近年増加傾向にあり、軟骨の障害に対する根本的な治療法への期待が高まってきています。当社は、自家培養軟骨がこのような患者さまのQOL（Quality of Life, 生活の質）向上に大きく貢献すると考え、これまで多くの臨床研究を通じてその有用性を明らかにした広島大学病院長 越智光夫教授から技術を導入し、事業化を進めてまいりました。

### 【自家培養軟骨について】

当社の自家培養軟骨は、患者さまご自身の関節非荷重部から少量採取した軟骨細胞を、アテロコラーゲンというゲル状の物質の中で約4週間培養し軟骨欠損部に移植することによって、当該欠損部を修復するものです。この方法の特長は、軟骨細胞がゲル中で三次元培養されるため一定の形状を持つ組織として維持され移植後に漏出することがないこと、そして患者さまご本人の細胞を使用するため免疫拒絶反応が極めて低いことです。

自家培養軟骨の開発の一部は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の委託開発事業として採択され、平成20年2月にその開発結果に対し、成功認定を受けました。

### 【薬事審査プロセスの実績】

平成13年9月 確認申請の提出  
平成16年2月 確認申請の適合  
平成16年4月 治験計画届の提出  
平成19年3月 治験終了届書の提出

### 【当社業績への影響】

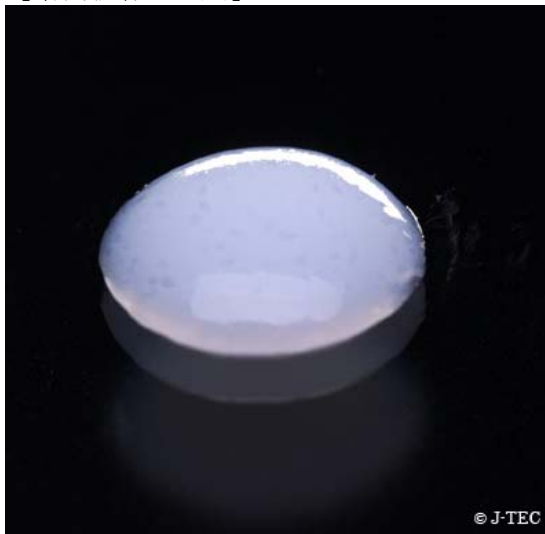
本件が、当社の平成22年3月期第2四半期及び通期業績予想に及ぼす影響はありません。

なお、製造販売承認につきましては、規制当局による審査・協議次第であるため承認時期は定かではありません。

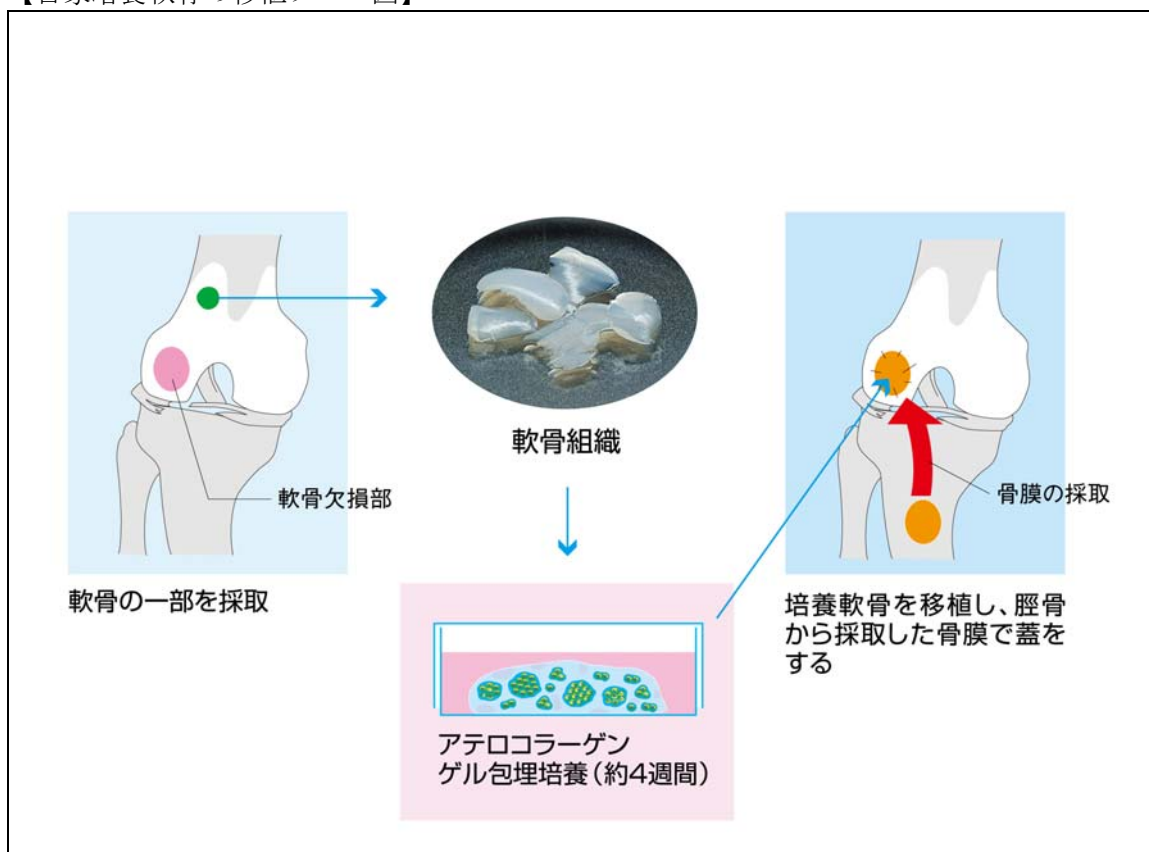
以上

(補足資料)

【培養軟骨の写真】



【自家培養軟骨の移植フロー図】



【本プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

経営管理部総務課 課長 PIR 担当 榊原 規生 (さかきばら のりお)

TEL : 0533-66-2020 FAX : 0533-66-2019